



三条市立第三中学校

学校データ

【学級数】 11 学級

【生徒数】 273 名

【地域コーディネーターの有無】 有

ふるさと三条を誇りとし、次代をたくましく生きぬく力を育てる

1 はじめに

三条市の北西部に位置し、JR北三条駅から徒歩15分程度である。国道8号線に近接している第二産業道路に面した交通の便利な場所にある。校区には、官公署、中央商店街等を含む市の中心部を主とし、周辺に工業地域や農村地域が含まれ、保護者・地域は学校への協力を惜しまない。校区の二つの小学校とともに三条学園として小中一貫教育を推進している。

今年度より第三中学校では、生徒が地域社会とのつながりを実感できるキャリア教育を重点に据え教育活動を展開している。

2 取組の実際

(1) 万屋三中プロジェクト（職業学習）

従来の職場体験に代わる企画として行ったのが2年生の万屋三中プロジェクトである。

地域の企業や住民のために、自分たちの考えたアイデアを企業に提案し、実現させていくというもの。受け身ではない、生徒が主体的に考える提案型の活動である。

例えばあるグループは、果物のルレクチェの全国認知度が低い現状を知り、それを上げるためにどうしたらよいかと課題を決めた。その課題解決の方策として、ポスターや商品紹介のポップを作り、それが県内直売所で使用された。



実際の店舗で使用されたルレクチェポスター

その他のグループは、メーカーの新しい工具のデザインを考案する、道の駅の商品やイベントを企画するなど、企業担当者とりもて打ち合わせながら活動を進めた。

このように生徒は地域の企業や住民などの要望をもとに主体的に課題を見つけ、積極的に課題解決しようとする態度を身に付けることができた。今後、学区の小学校5年生に対し発表会を行う予定である。

なお、この企画の立案に際し、地域コーディネーターより多大な協力を得た。おかげで協力企業の選定から生徒受け入れの依頼等、スムーズに進めることができた。

(2) キャリア講演会（プロから学ぶ）

夢や目標をもって生きることの尊さを生徒に感じてもらおうと、2件の講演会を行った。1つはオリンピック選手當銘孝仁氏、もう1つはプロダンサー中澤利彦氏によるものである。中澤氏の講演会は、PTA役員からの紹介で地域のNPO団体とのつながりができ、PTA行事として行った。

(3) 工場の祭典見学（地域学習）

地場産業のよさを学び、生徒に地元愛や誇りをもってもらおうと、一般公開されている展示会に全校生徒が参加した。数百年前からの燕三条地域の歴史から、世界でも認められている工業製品の品質について紹介され、生徒は迫力のある映像や音声、実際の商品に見入っていた。

(4) 地元企業人による面接指導

3年生を対象に行う受験に向けての面接指導を、地元企業の社長や面接担当者を招いて行っている。

生徒は実際の企業の採用面接さながらに、顔見知りの教師では得られない緊張感をもって取り組んでいた。自己を見つめ、社会とのつながりを意識する貴重な機会となった。

(5) あいさつ運動・あいさつ標語（学園運営協議会）

第三中学校学区（三条学園）では、その活動の一環として「あいさつ運動」を行っている。中学生がのべ9日間にわたって、朝の登校前に出身小学校の校門に立ち、小学生や地域の方々とあいさつを交わすというものである。中学生は全クラスが日ごとに活動に参加した。

それと並行して「あいさつ標語」を学園児童生徒に募集した。作品の審査を学園運営協議会委員が行い、最優秀賞を表彰した。



自分の出身小学校で行う「あいさつ運動」

3 成果と課題

及び本実践で育成された資質・能力

以上のような取組を通じ、生徒には例えば次のような資質・能力の向上が見られたと考える。キャリア講演会で積極的に講師に質問したり、ワークシートに自分の生き方を前向きに考える記述が見られたりすることから、改めて【自分の生き方を考え、夢や希望をもととする意識】が高まってきた。また、万屋三中プロジェクトで自分のできることを企業に提案し【今の課題について進んで取り組んでいこうとする態度】や、グループで多様な意見を調整しながらプロジェクトを進めていく経験から【自他のよさを生かし協力して課題解決に取り組もうとする態度】が育ってきた。さらに、様々な授業の中で行われてきた探求の流れを実際の企業活動でも実践したり、まとめを小学校5年生に発表したりしたことで【課題解決力（①課題設定力、②情報収集力、③整理・分析の力、④まとめ・表現の力）】がより高まった。

今後は地域へのアウトプットの方策を検討し、今まで行ってきたこれらの成果が今以上に地域に認知されるよう努めていきたい。生徒にとっても地域に発信し、その反応を肌で感じることでより一層、自己有用感の向上や新たな課題に向き合う際の自信にもつながるものと考えます。

4 おわりに

来年度は、生徒が地域社会と自分のつながりや関係性を認識するためのキャリア教育を中軸として教育活動を編制し、小中一貫教育での小中連携や地域連携に加え、新たにSDGsの視点も取り入れながら、子どもたちの「ふるさと三条を誇りとし、次代をたくましく生き抜く力」を育てるために、チーム三条学園で取り組んでいきたい。